株式会社タハラ

■事業

医療・福祉向けの高付加価値対応力と衣料品の国内回帰対応力の強化

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

クレアコンポⅡアプリケーション【クラインとサーバー】
シマトロニック　アパレルCADシステムP-CAM202ST

経営理念　正確で美しい裁断物を、納期を守り納品します。
ムダのない裁断を行うことで廃棄を減らし、環境保護に努めます。

丁寧な作業で高品質の裁断物を提供
短納期要望に応え信頼獲得

出雲市周辺は、かねてより衣料品などの縫製業が盛んな地域で、多くの工場が稼働している。株式会社タハラは、創業者の先代が経営していた縫製工場を前身に、縫製前の生地の裁断工程を請け負う会社として2007（平成19）年に設立された。創業以来、高品質・短納期要望に応え信頼を得てきたことで、「安心して仕事を任せることができる工場」として、大手メーカーとの取引を継続して行っている。

現在、主に有名ブランドのスポーツ用ポロシャツ、中高生向け学生ユニフォームといった裁断物を製造。近年は、一般的なアパレル用の生地のみならず、高付加価値のついた車椅子のクッションカバーなど、医療・福祉向けのメーカーからの取引案件も浮上。特殊な生地の裁断も求められるようになっている。

新機種導入により品質向上が実現
画期的にアップした作業性と効率

会社設立時に導入した裁断機は、一般的なアパレル衣料品を裁断するための仕様であり、厚手のナイロン素材や滑り止め加工素材の裁断には不向きで精度にも欠けていた。中には裁断できない素材もあり、発注に対応できないケースもあった。そのため、厚みや形状など、さまざまな生地に幅広く対応できる新機種の導入を検討。補助事業への申請に至った。

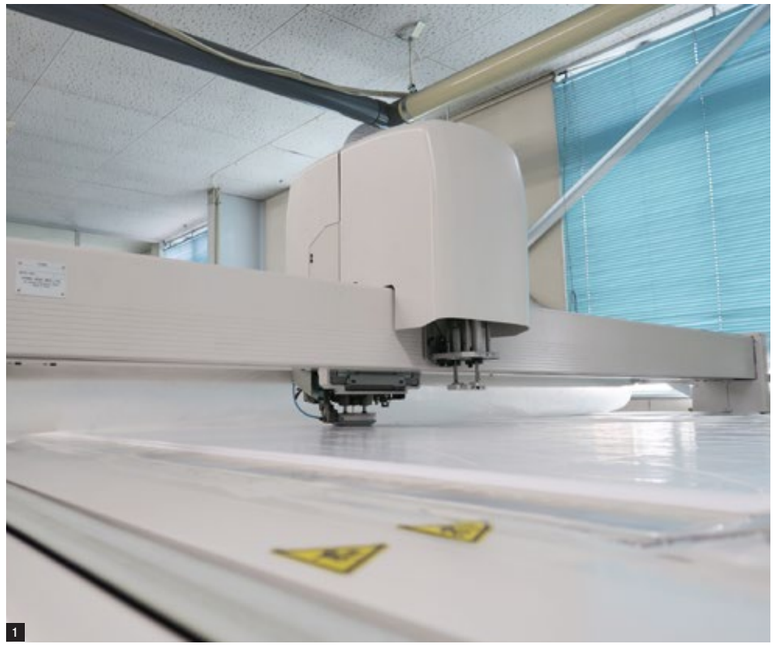
今回導入したアパレルCAM（コンピューター支援製造）システムP-CAM202STは、厚手のウレタン素材や滑り止め加工素材などの難加工素材にまで対応することができ、寸法精度も飛躍的に向上した。生地の上に描く裁断図は機械が効率性を考えて自動で描くのだが、少ないもので4パーツ、多いものでは21パーツにもなる。新機種では、台に広がる大きな生地に隙間なくパーツをかたどるスピードが、6分の1に短縮された。作業性が上がったことで、導入する前はひと月2万着だったアパレル衣料の上着は、3万着の生産を可能にした。



多久和裕之　代表取締役

最新のCADシステムにより作業効率アップ 多分野における特殊生地の裁断を可能に

☑ものづくり技術　□革新的サービス



1　導入したアパレルCADシステム（P-CAM202ST）
2　材料の布地
3　作業風景





需要のある新たな分野への進出
新機種でさらなる受注拡大を目指す

新機種の裁断機が導入されたことによりアパレル市場への対応が強化され、「裏生地が鹿（か）の子の編地で、なおかつソフトで温かい着心地の裏起毛仕様」など複合素材の高付加価値商品の裁断が可能となった。裁断物は、「早くて美しい」と、高評価を得ている。

一方で、新型コロナ感染や世界情勢の変化によって遅延している海外輸出向けの車椅子用クッションカバーをはじめとした医療・福祉機器製品において、いつでも応じる体制が整ったことで多分野への展開が可能となり、取引先が広がった。

近年、タイやカンボジア、中国など外国に工場を設置していた縫製部門の国内回帰傾向が続いている。さらなる日本製の品質向上、生産性拡大の実現に向けて営業活動を重視し、受注拡大を目指していく方針だ。今後も、国内のアパレル業界との信頼関係を大切にしつつ、世界経済の動向を見据え、新しい分野への挑戦を続けていく。

■Company Data

株式会社タハラ



社屋外観

代表者名：多久和裕之
設立年：2007（平成19）年
資本金：8,000千円
従業員数：14名
主たる業種：繊維工業
本社：〒691-0011 出雲市国富町562
電話：0853-25-7360
FAX：0853-25-7361